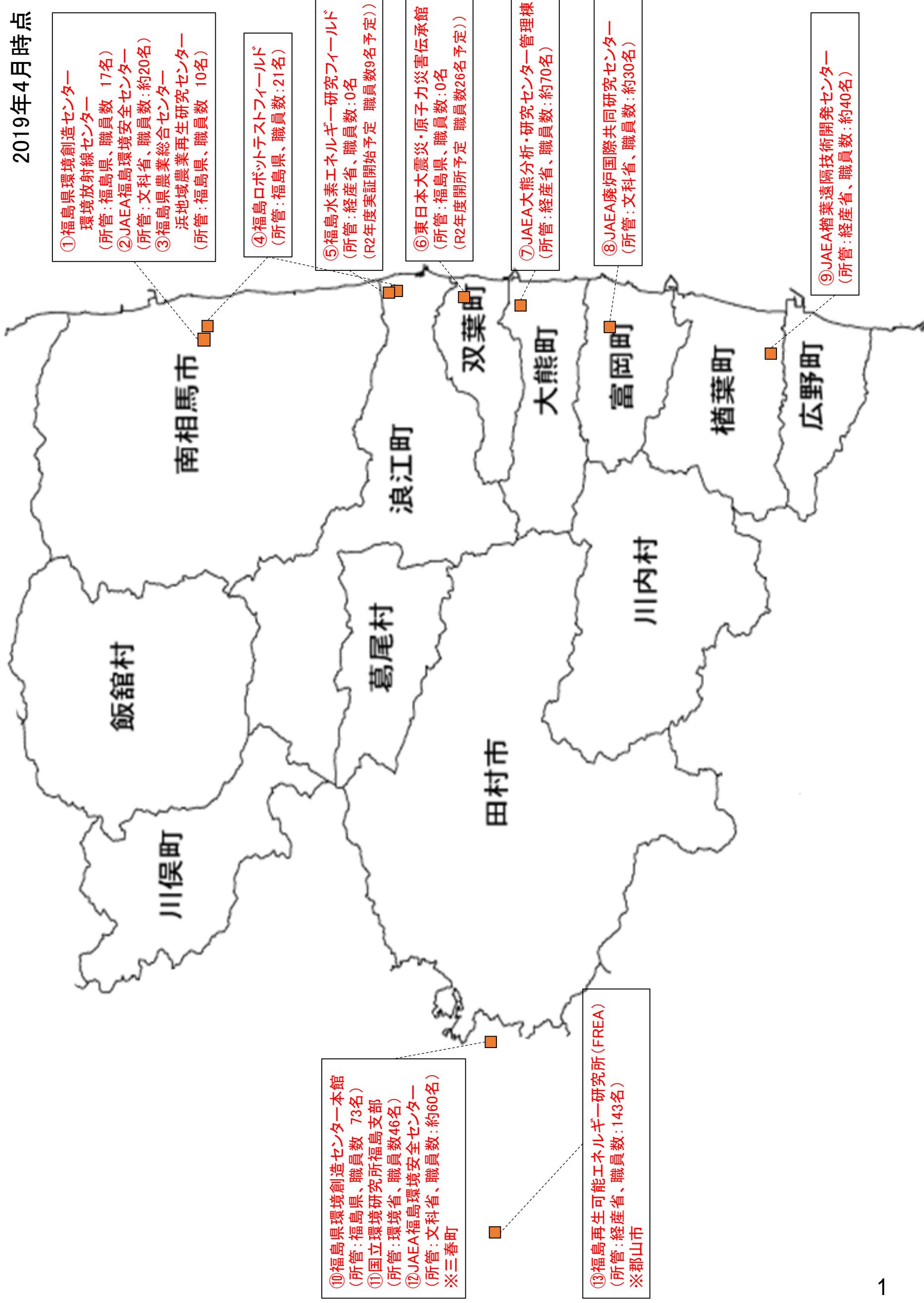


避難地域 1 2 市町村の生活環境等について

- ①福島イノベーション・コースト構想に基づく主な拠点
- ②避難地域 1 2 市町村の人口、学校、保育施設等、医療機関について
- ③避難地域 1 2 市町村の学校再開・開校の状況
- ④避難地域 1 2 市町村の保育施設等の状況
- ⑤避難地域 1 2 市町村の医療機関等の状況
- ⑥避難地域 1 2 市町村の商業施設等の状況
- ⑦避難地域 1 2 市町村の地域交通等の状況
- ⑧原子力被災自治体における住民意向調査（帰還意向等の把握）
- ⑨帰還困難区域の復興
- ⑩新生ふくしま 2020 年に向けて

①福島イノベーション・コースト構想に基づく主な拠点

2019年4月時点



②避難地域12市町村の人口、学校、保育施設等、医療機関について

市町村	人口				＜備考＞現在居住者数の時点	学校				保育施設等			医療機関			
	震災時住基人口 (全域) H23.3.11	震災時住基人口 (避難指示区域) H23.3.11 ①	現在居住者数 (避難指示解除 区域) ②	震災時住基人口 (避難指示区域) H23.3.11 ①		小学校	中学校	高等学校等	保育所	幼稚園	認定 こども園					
	田村市	41,662	380	228		380	2019.11.30	2	1	0	1	1		0	0	2
南相馬市	71,561	14,279	4,192	14,279	同11.30	4	1	2	1	5	0	0	15			
川俣町	15,877	1,252	353	1,252	同12.1	1	1	0	0	0	0	0	1			
榑葉町	8,011	7,975	3,878	7,975	同11.30	2	1	0	1	0	0	0	5			
富岡町	15,960	15,960	1,177	15,960	同12.1	2	2	2	2	3	0	0	20			
川内村	3,038	358	118	358	同12.1	1	1	0	1	0	0	0	1			
浪江町	21,434	21,434	1,174	21,434	同11.30	6	3	2	3	4	0	0	22			
葛尾村	1,567	1,567	414	1,567	同12.1	1	1	0	0	1	0	0	2			
飯館村	6,509	6,509	1,391	6,509	同12.1	3	1	1	1	2	0	0	2			
大熊町	11,505	11,505	129	11,505	同12.1	2	0	0	0	0	0	0	2			
双葉町	7,140	7,140	13,054	7,140	—	2	1	1	1	1	0	0	11			
合計	204,264	88,359	13,054	88,359	—	全域避難指示継続中 (2019年度末及び2022年春頃一部区域避難指示解除目標) 全域避難指示継続中 (2019年度末及び2022年春頃一部区域避難指示解除目標)										

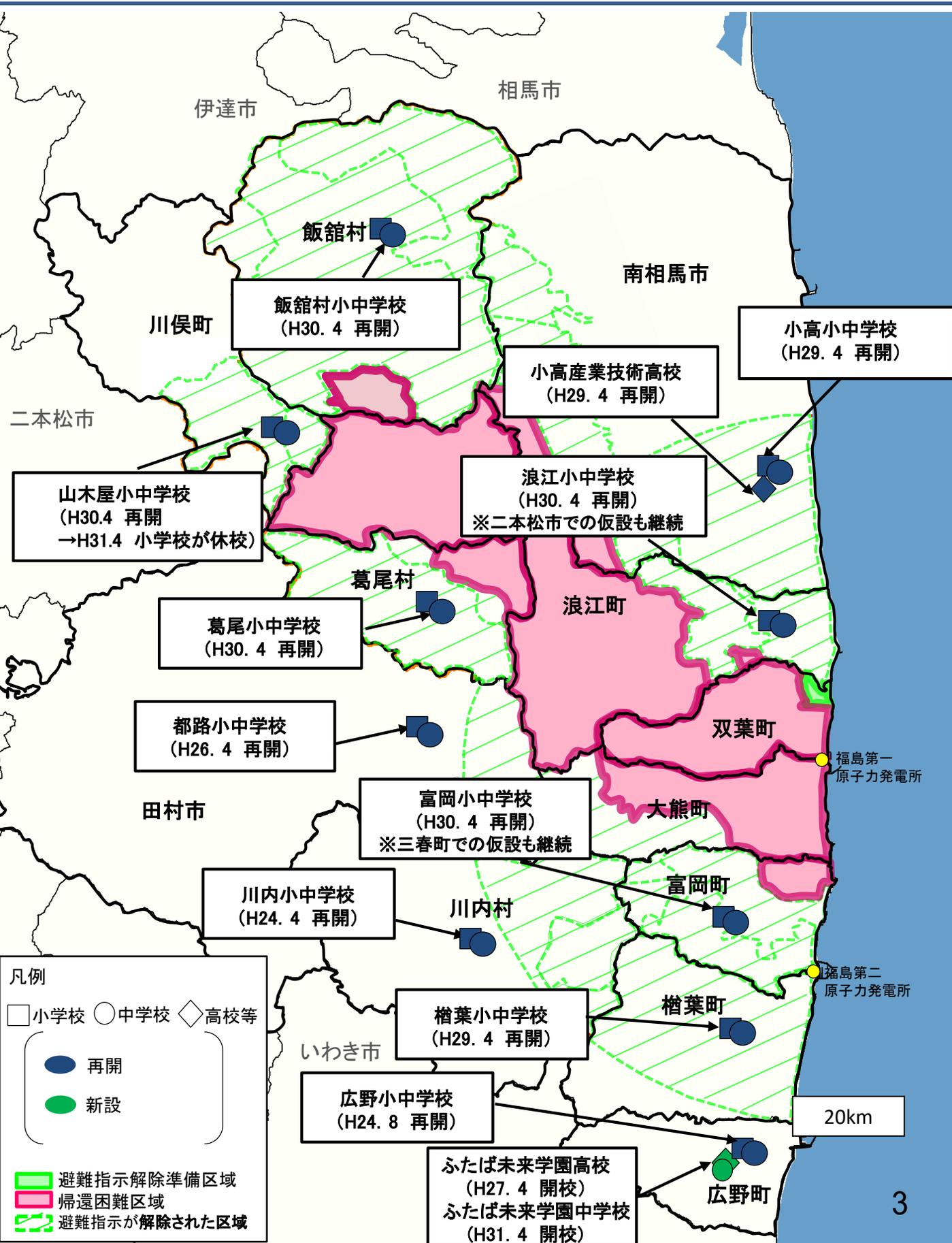
市町村	人口				＜備考＞現在居住者数の時点	学校				保育所等			医療機関
	震災時住基人口 (全域) H23.3.11	震災時住基人口 (旧緊急時避難 準備区域) H23.3.11 ①	現在居住者数 (旧緊急時避難 準備区域) ②	震災時住基人口 (旧緊急時避難 準備区域) H23.3.11 ①		小学校	中学校	高等学校等	保育所	幼稚園	認定 こども園		
	市町村	5,490	5,490	4,228		5,490	2019.11.30	1	1	0	1	1	
広野町	5,490	5,490	4,228	5,490	2019.11.30	1	2	1	0	0	1	0	5

※榑葉町、川内村の人口(①・②)については自治体からの聞き取りによるもの。

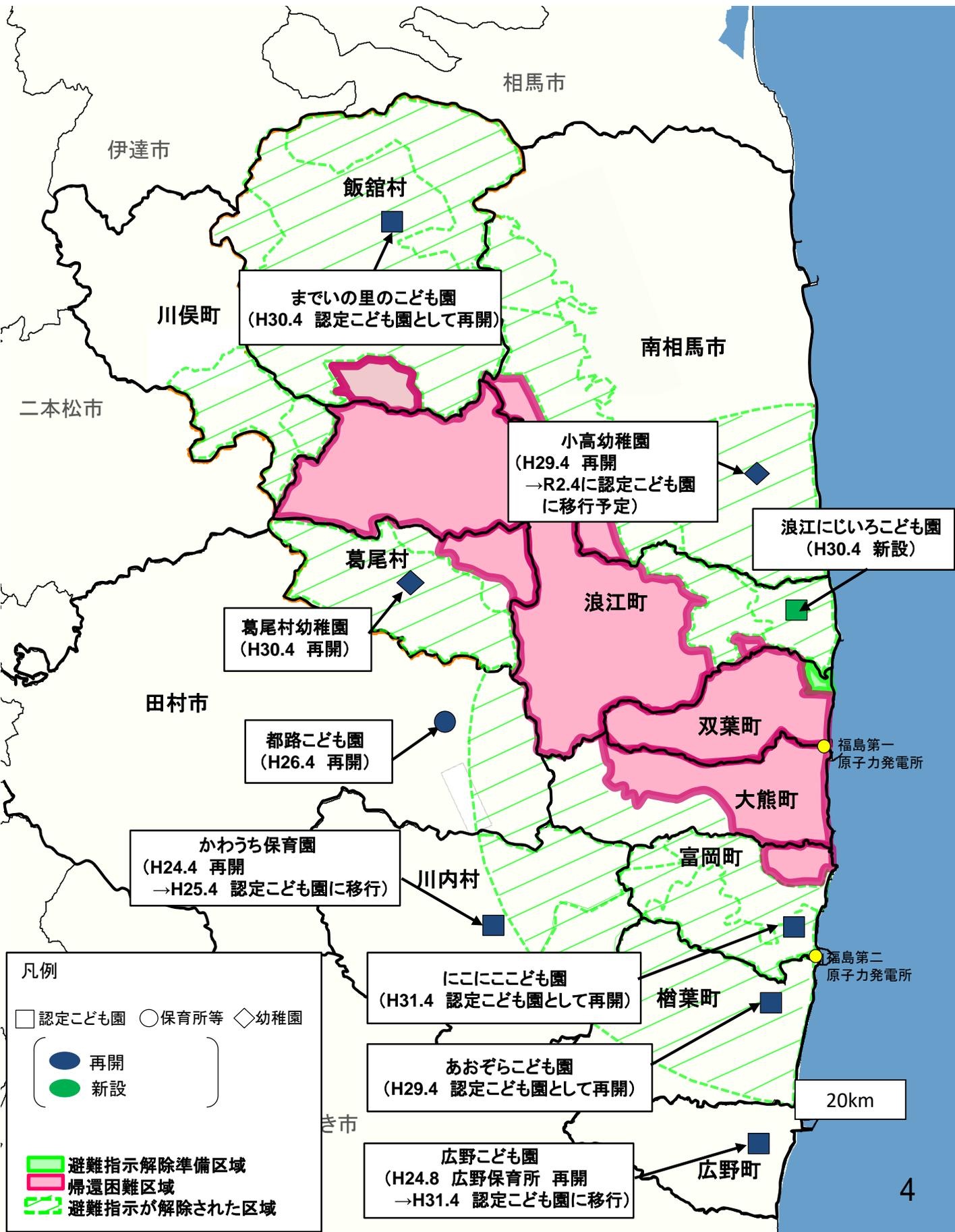
※学校、保育施設等、医療機関は、避難指示区域内(田村市、川内村、飯館村)の施設数。上段が震災前、下段が現在(地元以外で再開している施設・休止中の施設は除く)。

※南相馬市、榑葉町、飯館村については複数の小学校が1つの施設に入っており、1校としてカウントしている。

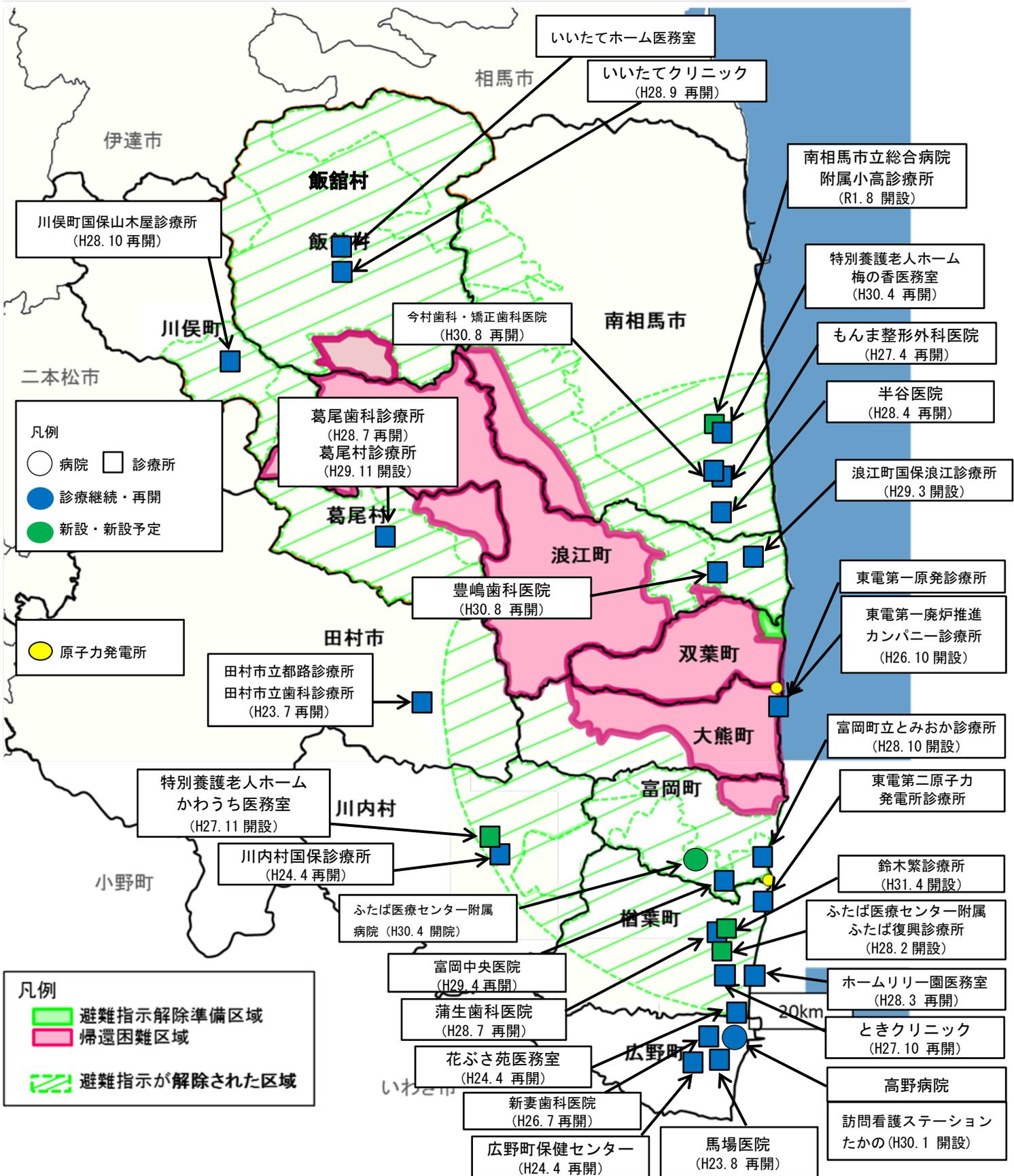
③避難地域12市町村の**学校再開・開校**の状況 (令和元年12月現在)



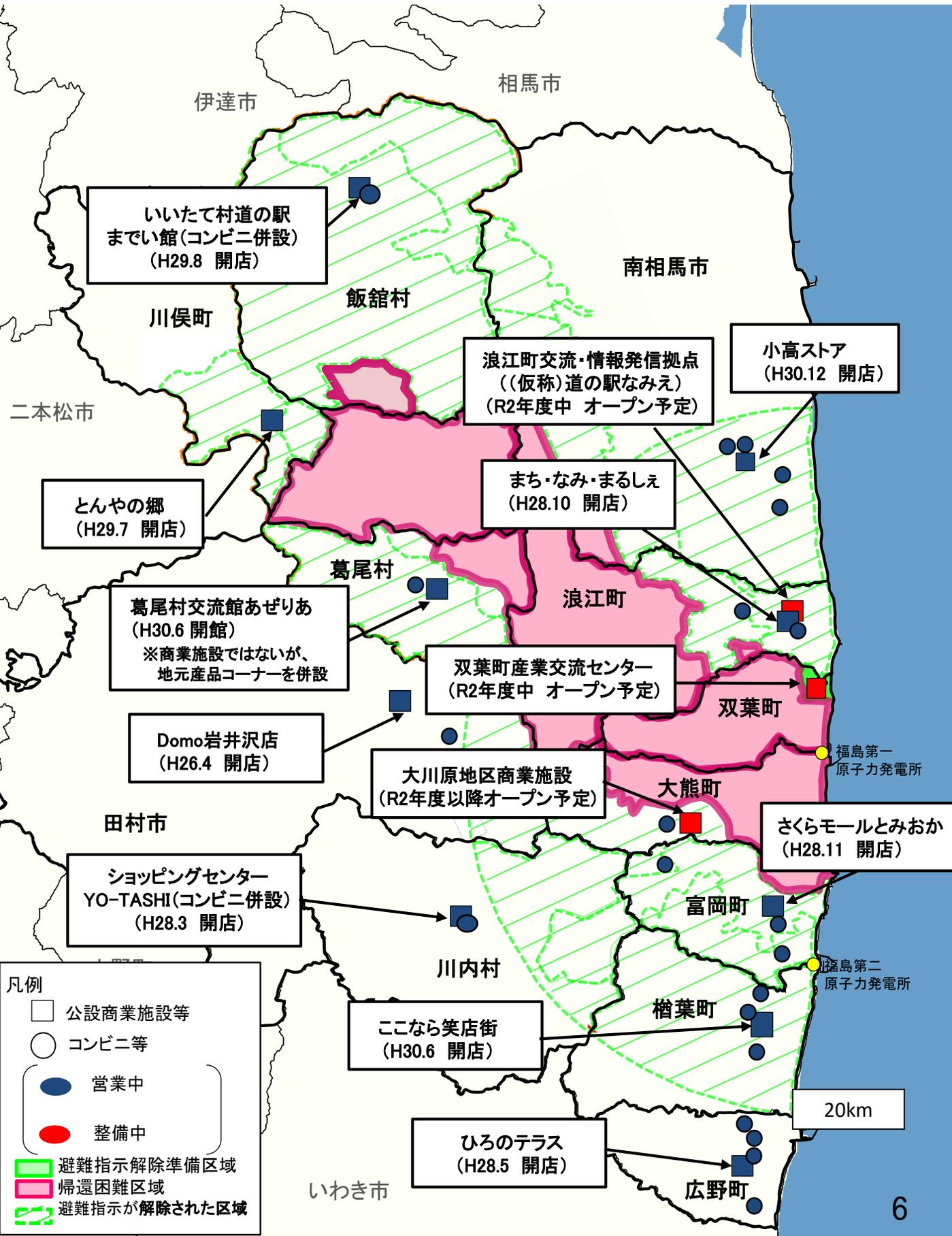
④避難地域12市町村の**保育施設等**の状況(令和元年12月現在)



⑤避難地域 12 市町村の医療機関等の状況 (令和元年 12 月現在)



⑥避難地域12市町村の商業施設等の状況 (令和元年12月現在)



⑦避難地域12市町村の地域交通等の状況(令和2年3月14日以降)



凡例

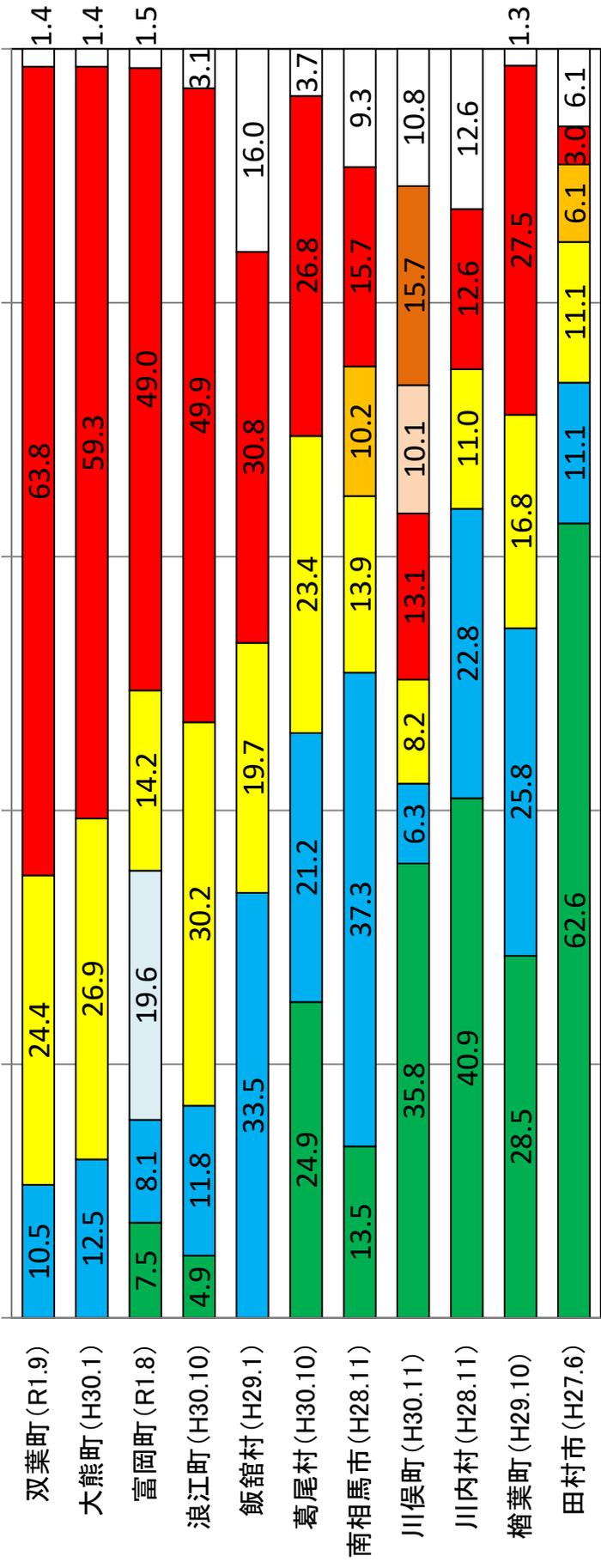
-  主な路線バス・高速バス・公共交通
-  常磐自動車道
-  JR常磐線
-  通行可能な主要道路

-  帰還困難区域
-  避難指示が解除された区域

⑧原子力被災自治体における住民意向調査（帰還意向等の把握）

- 避難期間中の生活環境の改善、避難指示解除を見据えた帰還に向けた諸施策の実施、さらには長期避難者等に対する支援等の具体化を進めるための基礎資料として、避難されている住民の今後の生活再建に向けた意向等を把握するため、平成24年度から継続して実施。
- 福島県内の12市町村※のうち、本調査の実施を希望する市町村に対して、国・福島県・市町村が共同で実施。
※令和元年度は、双葉町・大熊町・富岡町・浪江町・葛尾村・南相馬市・川俣町で実施。

【凡例】 ■戻っている ■戻りたい ■戻りたいが戻れない ■まだ判断がつかない ■同じ自治体内に戻りたい ■戻らない
□同じ自治体内の他地区に転居している □自治体外に転出している □無回答



0% 20% 40% 60% 80% 100%

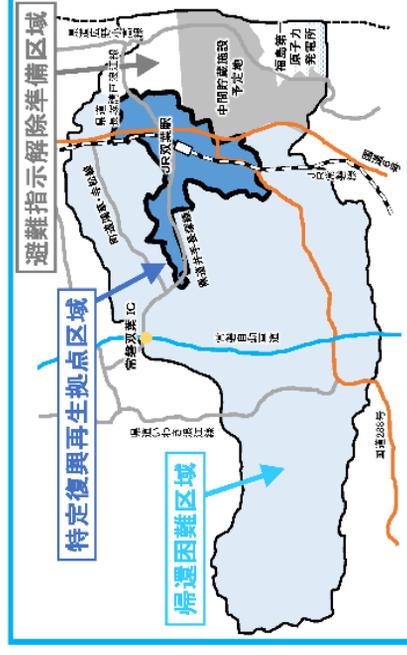
※「平成30年度原子力被災自治体における住民意向調査 調査結果(概要)」(平成31年3月19日復興庁公表)を基に作成。(令和元年度実施済みの富岡町・双葉町は令和元年度の結果を使用。平成30年度未実施の大熊町・楢葉町は平成29年度結果、飯館村・南相馬市・川内村は平成28年度結果、田村市は平成27年度結果を使用。)
※()内は調査実施時期
※市町村ごとの凡例は、一部便宜的に加工している箇所あり。

⑨帰還困難区域の復興1

- 福島特措法の改正により、帰還困難区域の復興及び再生を推進する計画制度を創設。
- 既に**6町村（双葉、大熊、浪江、富岡、飯館、葛尾）**の計画を内閣総理大臣が認定済み。
- 町村、県、国が一体となった「**推進会議**」を設置し、**計画の具体化を推進**。

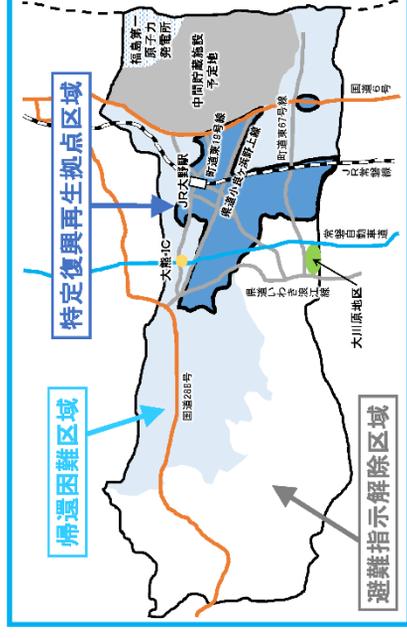
認定済みの特定復興再生拠点区域復興再生計画概要

双葉町（2017年9月15日認定）



- ・ 区域面積：約555ha ・ 居住人口目標：約2,000人
- ・ 避難指示解除の目標
2020年3月：JR常磐線双葉駅周辺の一部区域
2022年春頃まで：特定復興再生拠点区域全域

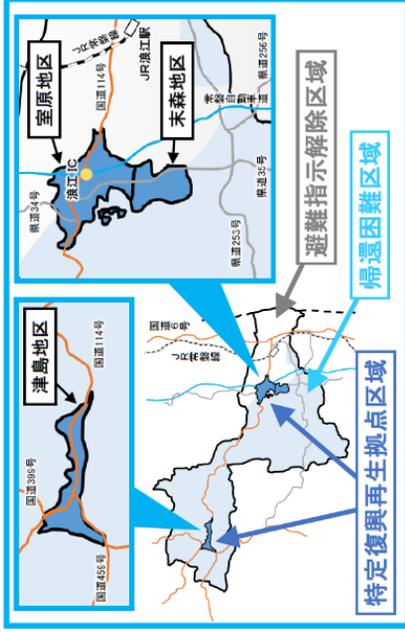
大熊町（2017年11月10日認定）



- ・ 区域面積：約860ha ・ 居住人口目標：約2,600人
- ・ 避難指示解除の目標
2020年3月：JR常磐線大野駅周辺等の一部区域
2022年春頃まで：特定復興再生拠点区域全域

⑨帰還困難区域の復興2

浪江町（2017年12月22日認定）



- ・ 区域面積：約661ha ・ 居住人口目標：約1,500人
- ・ 避難指示解除の目標：2023年3月
(ただし、早期に整備が完了した区域から先行する。)

飯舘村（2018年4月20日認定）



- ・ 区域面積：約186ha ・ 居住人口目標：約180人
- ・ 避難指示解除の目標：2023年春
(ただし、早期に整備が完了した区域から先行する。)

富岡町（2018年3月9日認定）



- ・ 区域面積：約390ha ・ 居住人口目標：約1,600人
- ・ 避難指示解除の目標：
2020年3月：JR常磐線夜ノ森駅周辺の一部区域
2023年春頃まで：特定復興再生拠点区域全域

葛尾村（2018年5月11日認定）



- ・ 区域面積：約95ha ・ 居住人口目標：約80人
- ・ 避難指示解除の目標：2022年春

誰もが安心して住み、訪れる“ふくしま” 世界モデルの技術と産業構造を持つ“ふくしま” みんなが誇りに思う、ふるさと“ふくしま”

福島イノベーション・コースト構想 (主な拠点・取組)

⑨ふくしま国際医療科学センター

2016.12 (全面供用開始)

福島市



⑩ふくしま医療機器開発支援センター

2016.11 (供用開始)

郡山市



⑪環境創造センター

2016.7 (全面供用開始)

三春町



⑫会津大学復興支援センター (先端ICTラボ)

2015.10 (供用開始)

会津若松市



⑬福島再生可能エネルギー研究所

2014.4 (供用開始)

郡山市



⑭浜地域農業再生研究センター

2016.3 (開所)

南相馬市



⑮水産資源研究所

2019.2 (全面供用開始)

相馬市



⑯水産海洋研究センター

2019.7 (供用開始)

いわき市



⑰農林水産

水素社会実現のモデル構築

スマートエネの導入拡大

東京2020オリンピック 野球・ソフトボール 開催

2020

福島市の復興に向かう姿と魅力を世界に力強く発信!!



地域密着型スポーツ

2014-

福島市



磐梯山ジオパーク

2015.12 日本ジオパークに再認定

2013- 合戦街道 磐梯山ジオパーク

北塩原村・磐梯町・猪苗代町



CLT実証実験

2014年度-

会津若松市



木質バイオマス発電

2013-

5 MW (稼働中)

会津若松市



只見線の復旧

2021 運転再開を目指す (会津川口駅-只見駅間)

只見線



ユネスコエコパーク

2014-

只見町・檜枝岐村



小水力発電

2015-

175kW

下郷町



白河小峰城の復旧

2019.3 (完了)

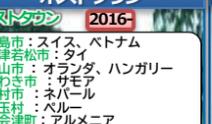
白河市



東京2020オリンピック パラリンピック ホストタウン

2016-

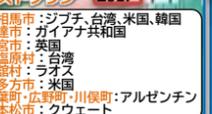
福島市: スイス、バトナム 会津若松市: タイ 郡山市: オランダ、ハンガリー いわき市: サモア 田村市: ネパール 大田村: バルネ 南相馬市: アルメニア 南相馬市: ガーナ



復興ありかどう ホストタウン

2017-

南相馬市: シンガポール、台湾、米国、韓国 行田市: ガイアナ共和国 本宮市: 英国 北塩原村: 台湾 喜多町: ラオス 喜多町: 米国 本宮市: クウェート



会津街道 (旧街道) の開通

2015.9 全線開通 (国道転換代行区間)



ICTオフィス「スマートシティ(AICT)」

2019.4 (開所)

会津若松市



復興公営住宅の整備

2014.11~順次入居開始 (現在)

いわき市



小名浜魚市場

2015.3 (供用開始)

いわき市



小名浜港の機能強化

2020年度 (供用開始目標)

いわき市



復興工業団地 (四倉中核工業団地)

2018.3 (完成・分譲中)

いわき市



最新石炭火力発電 (IGCC)

2020-2021 (稼働予定)

いわき市・広野町



福島県立医科大学 (仮称) 保健科学部

2021 (開設予定)

福島市



福島大学「食農学類」

2019.4 (開設)

福島市



福島県警察本部庁舎

2018.7 (全面稼働)

福島市



復興牧場「フェリスラテ」

2015.9

福島市



ふくしま復興再生道路の整備

8路線について、2020年代初頭までに完成予定



山木屋地区復興拠点商業施設 「とんやの郷」

2017.7 (開店)

川俣町



東北中央自動車道の整備 (相馬福島道路)

相馬玉野IC~蓋山IC間 開通式 (2018.3.10)



広域路線バスの運行

提供: 新常盤交通 (株)



常磐線の運転再開

2019年度末まで (全線開通見込)

提供: 南相馬市



常磐自動車道の全線開通

2015.3 いわき中央IC~広野IC 2020年度末までに4車線化を目指す

提供: 常磐自動車IC (株)



幼保・小中学校等の地元の再開

【再開時期】 南相馬市小高区...幼稚園、小中学校 (2017.4) 楡葉町...こども園、小中学校 (2017.4) 川俣町山木屋地区...小中学校 (2018.4) 高岡町...こども園 (2018.4) 高岡町...こども園 (2018.4) 高岡町...こども園 (2018.4) 高岡町...こども園 (2018.4)



いいたて村の道までい館

2017.8 (開店)

飯舘町



葛尾村復興交流館 あぜりあ

2018.6 (開所)

葛尾村



双葉駅

2020年度 (供用開始予定)

提供: 東日本鉄道 (株)



Jヴィレッジ

2019.4 (開業)

楡葉町



小高ストア

2018.12 (開店)

南相馬市



浪江町仮設商業施設 まちなみ・まるしえ

2016.10 (開店)

浪江町



木材加工流通施設 (集材製造施設)

2020年度 (供用開始目標)

浪江町



ふたば医療センター 附属病院

2018.4 (診療開始)

2018.10:25新病舎開始

富岡町



ふたば医療センター 附属 ふたば復興診療所

2016.2 (診療開始)

楡葉町



ここなら笑店街

2018.6 (開店)

楡葉町

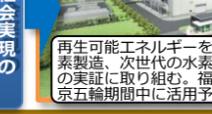


大熊分析・研究センター (放射性物質分析・研究施設)

2018.3 (一部運用開始)

施設管理棟

大熊町



浪江町仮設商業施設 まちなみ・まるしえ

2016.10 (開店)

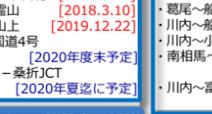
浪江町



復興祈念公園

2016.10 (開店)

浪江町

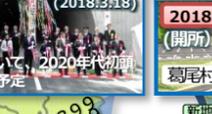


双葉町産業交流センター

2020年度 (供用開始予定)

提供: 双葉町

双葉町



大熊町役場新庁舎

2019.5 (供用開始)

提供: 大熊町

大熊町



ふたば医療センター 附属 多目的医療用ビル

2018.4 (診療開始)

2018.10:25新病舎開始

富岡町



ふたば医療センター 附属 多目的医療用ビル

2018.4 (診療開始)

2018.10:25新病舎開始

富岡町



ここなら笑店街

2018.6 (開店)

楡葉町



大熊町復興センター

2017.4 (運用開始)

提供: JAEA

富岡町



楡葉遠隔技術開発センター (モックアップセンター)

2016.4 (本格運用開始)

提供: JAEA

楡葉町



浮体式洋上風力発電 実証研究

2015.8 (稼働開始)

南相馬市

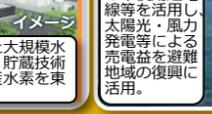


大熊町ふるさと復興メガソーラー

2015.12 (稼働開始)

1.89MW

大熊町



福島新エネ社会構想

2016年度- スマートエネの導入拡大

水素社会実現のモデル構築

再生可能エネルギーを用いた大規模水素製造、次世代の水素輸送・貯蔵技術の実証に取り組む。福島県産水素を東京五輪期間中に活用予定。

浪江町

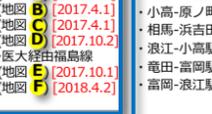


避難地域・再生可能エネルギー 復興支援プロジェクト

2016年度- (順次、発電開始)

原子力発電所の不備等を活用し太陽光・風力発電等による充電等による避難地域の復興に活用。

避難解除区域等



浮体式洋上風力発電 実証研究

2014-

第一期の2MW風車に続き、第二期として7MW風車 (2015.12.26 運転開始) 5MW風車 (2017.2.1 運転開始) を設置。

福島県沖



漢型ハ「イリス」-実証施設

2015.8 (稼働開始)

南相馬市



大熊町ふるさと復興メガソーラー

2015.12 (稼働開始)

1.89MW

大熊町



福島新エネ社会構想

2016年度- スマートエネの導入拡大

水素社会実現のモデル構築

再生可能エネルギーを用いた大規模水素製造、次世代の水素輸送・貯蔵技術の実証に取り組む。福島県産水素を東京五輪期間中に活用予定。

浪江町



避難地域・再生可能エネルギー 復興支援プロジェクト

2016年度- (順次、発電開始)

原子力発電所の不備等を活用し太陽光・風力発電等による充電等による避難地域の復興に活用。

避難解除区域等



浮体式洋上風力発電 実証研究

2014-

第一期の2MW風車に続き、第二期として7MW風車 (2015.12.26 運転開始) 5MW風車 (2017.2.1 運転開始) を設置。

福島県沖



漢型ハ「イリス」-実証施設

2015.8 (稼働開始)

南相馬市



大熊町ふるさと復興メガソーラー

2015.12 (稼働開始)

1.89MW

大熊町



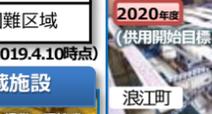
福島新エネ社会構想

2016年度- スマートエネの導入拡大

水素社会実現のモデル構築

再生可能エネルギーを用いた大規模水素製造、次世代の水素輸送・貯蔵技術の実証に取り組む。福島県産水素を東京五輪期間中に活用予定。

浪江町



避難地域・再生可能エネルギー 復興支援プロジェクト

2016年度- (順次、発電開始)

原子力発電所の不備等を活用し太陽光・風力発電等による充電等による避難地域の復興に活用。

避難解除区域等

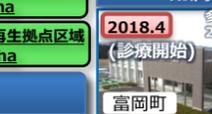


浮体式洋上風力発電 実証研究

2014-

第一期の2MW風車に続き、第二期として7MW風車 (2015.12.26 運転開始) 5MW風車 (2017.2.1 運転開始) を設置。

福島県沖



漢型ハ「イリス」-実証施設

2015.8 (稼働開始)

南相馬市



大熊町ふるさと復興メガソーラー

2015.12 (稼働開始)

1.89MW

大熊町



福島新エネ社会構想

2016年度- スマートエネの導入拡大

水素社会実現のモデル構築

再生可能エネルギーを用いた大規模水素製造、次世代の水素輸送・貯蔵技術の実証に取り組む。福島県産水素を東京五輪期間中に活用予定。

浪江町



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



環境・リサイクル

浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業を集積



ロボット

①福島ロボットテストフィールド

(全施設開所予定)

2020年度

試験用プラント 水産市街地フィールド 瓦礫土砂崩落フィールド

2019.2開所 2019.10開所 2019.9開所

イメージ 南相馬市 浪江町

2019.10開所 2019.9開所 2019.10開所 2019.10開所



情報発信

②東日本大震災・原子力災害伝承館

2020年度 (開所予定)

イメージ 双葉町



大学研究/教育・人材育成

③小高産業技術高等学校

2017.4 (開校)

南相馬市



ふたば未来学園中学校・高等学校

2019.4 (開校)

ふたば未来学園高校は2015年4月に先行して開校

広野町



廃炉研究

⑤大熊分析・研究センター (放射性物質分析・研究施設)

2018.3 (一部運用開始)

施設管理棟

大熊町



廃炉国際共同研究センター 「国際共同研究棟」

2017.4 (運用開始)

提供: JAEA

富岡町



楡葉遠隔技術開発センター (モックアップセンター)

2016.4 (本格運用開始)

提供: JAEA

楡葉町

